

GLP-GEfIL

GLP-GEfIL に関するお知らせです。

GEfIL 実践研究 PHASE1 のテーチングアシスタントを募集 します。

応募締切は 10 月 31 日（火）です。

GLP-GEfIL 第 9 期生向け、GEfIL 実践研究 PHASE1 の 2023 年度開講にあたり、テーチング・アシスタントを募集します。募集人員は約 8 名です。

詳細は、以下の募集要項 (Application Guidelines for 2023_2024 GEfIL_PHASE1 Teaching Assistant) をご覧ください。募集対象は、東京大学大学院生です。

ご希望者は以下の Application Form にご記入の上、CV を添えて以下宛先までご提出ください。締切は 10 月 31 日 (火) です。

(提出先)

〒113-8654 文京区本郷 7-3-1

東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟 1階

グローバルリーダー育成プログラム (GLP) 推進室

Dr. Naoko HOSOKAWA, GLP-GEfIL Mentor

Email: glp-gefil.adm@gs.mail.u.tokyo.ac.jp

お問合せ等は、GLP 推進室までご連絡ください。 (glp-gefil.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

(2023/10/12)

- [Application Guidelines for 2023_24 GEfIL_PHASE1 Teaching Assistant](#) 
- [2023_2024_GEfIL-PHASE1_TA_Application_Form](#) 

GEFIL 実践研究

実践研究は、PHASE1 と PHASE2 から成っています。

自身が関心を持つ地球規模で生じる「現実」の問題を対象として、創造的・学際的な研究プロジェクトを設計・実施することを目標とします。約 1 年半の主体的な学修を通じて、これまでに習得した基礎理論、分析方法、技術などを利用しながら、具体的な課題に取り組むことにより、論理的な思考による問題解決力を養います。

各学生は、ピース・ビルディング、グローバル・エコノミー & マネジメント、グローバル・ヘルス、ダイバーシティ*、サステイナビリティの大きなテーマ群の中で、研究課題を設定し、メンターの指導や助言を得つつ、研究プロジェクトを計画から発表まで実行します。

研究プロジェクトの企画・実施のサポートや、研究の進捗や問題点等について、学生同士やメンターのフィードバックを得るため、演習、ワークショップ、中間発表を定期的に行います。

* 2017 - 2018 年度、2018 - 2019 年度、2019 - 2020 年度にはダイバーシティに代わり、グローバル・エデュケーションが開講されます。

* 2019 - 2020 年度よりグローバル・シティが開講されます。

GEFIL 実践研究 PHASE1 (2 年次 12 月 ~ 3 年次 5 月)

PHASE1 の主な目的は、学生が、異分野にまたがる既存の学問分野の枠を超える研究スキル、英語のコミュニケーション・プレゼンテーションスキル、およびチームワークコンピテンシーを身につけることです。PHASE2 で自分の研究プロジェクトに着手するときに、こうしたスキルを十分に保持している必要

があります。

このため、PHASE1では、プロジェクトに基づく、焦点を絞った「足場かけ支援」の学習手法を採用します。学生がGefIL申請書に記載した「地球規模問題」について関心のある事項に基づいて、大規模なシナリオ（ケーススタディ）が用意され、これが学生の研究プロジェクトの枠組みになります。

地球規模問題は複雑で、通常、多様な知識と価値観を併せ持つエキスパートとの間で協同する必要があるので、PHASE1の研究プロジェクトは、同様の関心を持ちながら異なる学問分野に所属する学生たちによる学際的チームで実施します。チームとして、また個人として、学生は企画段階から知見のプレゼンテーションまで、「現実の」研究とは何を意味するのかを経験します。各チームは、所定のシナリオの特定側面に対する解決策を研究し、それを提案して、他のチームと自分たちの考えを互いにディベートし、有意義な協同作業を通じて、様々なエキスパートや「利害関係者」の関心事（およびコメント）を考慮します。このプロセスを通じて、知識を養い、アジェンダを設定し、行動・研究計画を構築、実行し、効果的な学際的チームワーク作業を行い、討議およびプレゼンテーションのスキルを駆使することを経験します。

この科目は、以下の2つの要素が、一組のらせん構造のように互いに関係する仕組みになっています。

1. 分野の枠を超える各研究プロジェクトにおいてよく提起される一連の基本的疑問
2. 構造化されたタスクを通じて学生が一貫して獲得する研究スキル

2023-2024年度 GefIL 実践研究 PHASE1 開講日程とイベント

予定（第9期履修生対象）

[過去の実践研究 PHASE1（2022～2023年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE1（2021～2022年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE1（2020～2021年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE1（2019～2020年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE1（2018～2019年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE1（2017～2018年度）](#)

- [実践研究 PHASE1 開講予定（as of 2023/09/21）](#) 

• [2023_2024 実践研究 PHASE1 暫定シラバス\(as of 2023/09/21\)](#)



2023年ー2024年の講義予定は以下の通りです。（第9期生履修生向け:2023/7/21現在）

Workshop1	2023年12月9日（土）	13:30-16:30
Workshop2	2023年12月16日（土）	13:30-17:30
Workshop3	2024年2月3日（土）	13:30-17:30
Workshop4	2024年2月17日（土）	9:30-17:30
Workshop5	2024年3月23日（土）	13:30-17:30
Workshop6	2024年4月6日（土）	13:30-17:30
Workshop7	2024年5月（TBC）	9:00-18:00 Final Presentation

GEFIL 実践研究 PHASE2（3年次9月～4年次5月）：

2022~2023年度

[過去の実践研究 PHASE2（2021-2022年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE2（2019-2020年度および2020-2021年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE2（2017-2018年度および2018-2019年度）](#)

[過去の実践研究 PHASE2（2016～2017年度）](#)



～～概要～～

世界各地でさまざまな健康問題が生じている。世界といっても焦点は途上国。多くの途上国では、先進国で可能な疾病対策ができない。命を守れない。2016年度日本の平均寿命は84歳、アフリカのシエラレオネでは50歳である。この格差はどこからくるのか？貧困、不十分な教育、不安定な政治。医療以外の社会・政治要因もまた格差を作り出している。健康格差を特定し、許せないとの怒りを感じつつも、冷静に格差是正の道をみいだす。それがグローバルヘルスの使命である。ただし、命を脅かしているのは病気だけではない。とりわけ途上国の人々は、災害、紛争等、多くの脅威にさらされている。これらの脅威をも克服していくための第一歩として健康づくりである。疾病だけでなく、多くの脅威の下にある個人とコミュニティの安心と安全を守る。人間の安全保障の目的でもある。本講義では、まず世界の健康格差の実情を把握する。次に移民などの特定集団における健康格差是正のため、多角的な取り組みを検討する。最後に、健康の先にある価値を追求する。

(授業キーワード)

健康、健康格差、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、健康の社会的決定要因、健康の政治的決定要因、人間の安全保障

[～～神馬征峰教授紹介のサイトへ～～](#)



～概要～

例えば COVID-19 パンデミックとウクライナの戦争を見れば明らかなように、子どもは容易に剥奪や疎外の対象となり、傷つきやすい存在である。同時に、子どもは自分自身と社会全体のより良いウエル・ビーイングを享受する権利を持った主体的存在である。それゆえ、国連・子どもの権利条約が示すように、子どもの権利は保護と参加の両面を含んでいる。

子どもの権利条約は、1989年に国連総会で満場一致により採択され、米国を除くすべての加盟国によって批准されている条約である。国際合意である同条約は、国家に対し、非差別、子どもの最善の利益、生命・生存・発達への固有の権利、意見を尊重される権利を原則に基づいて、子どもの経済的、政治的、文化的な諸権利を実現するよう要求している。

ケア、健康、教育、少年司法などの領域における一定の進歩にも関わらず、子どもの権利の実現は今日でも世界的課題である。この点、日本も例外ではなく、貧困、いじめ、ジェンダー・能力・民族・国籍に基づく差別などが子どもの権利実現を阻んでいる。つまり、子どもの権利はグローバルかつローカルな、学際的アプローチを必要とする課題である。本実践研究の目的は、グローバルかつローカルな文脈において子どもの権利保障を進めるうえでの挑戦と機会を探究することである。その際、特に教育に関する諸権利に注目する。子どもの教育に関する権利は、教育への権利（平等なアクセスなど）、教育における権利（非差別、暴力やいじめからの保護、参加など）、教育を通しての権利（人間の権利と自由の尊重の実現）から成ると考えられる。本グループの参加者は、専門家による講義への参加、文献研究、グループ討議、選択したトピックについての研究を行い、得られた知見と子どもの権利保障をさらに進めるための提案を発表する。

（授業キーワード）

子どもの権利・子どもの最善の利益・教育への平等なアクセス・教育における非差別・国連子どもの権利条約

～～[勝野正章教授紹介のサイトへ](#)～～

ピース・ビルディング キハラハント 愛 教授



～～概要～～

1990年代に平和構築の考え方が国連で提唱されてから数十年が経つ。このコースでは、「平和構築」とは持続的な平和を構築するための包括的な取り組みを意味することとする。

持続可能な平和には、主に2つの要素がある。1つは武力紛争の発生または再発のリスクが最小限に抑えられること、そしてもう1つは紛争の種を平和的に解決する機関や手段があるということである。このコースでは、学生は持続可能な平和に必要な要素を分析し、何が武力紛争の理由となるかを追及する。また、武力紛争の発生や再発を防ぐ方法を検討し、武力紛争と人権や開発との関係を考える。その過程で特に人権と正義との関係に留意することを推奨する。このコースでは実践的な研究を通じて、学生は下記について理解を深める。

1)武力紛争や世界の不安定な状況を含む問題、2)人権と持続可能な平和、3)正義、アカウンタビリティ、持続可能な平和、4)構造的暴力、5)ジェンダー、6)平和活動、7)難民と移住、8)開発援助、9)治安部門、10)ローカルオーナーシップ、11)グローバルガバナンスと平和構築。

今年度のコースでは一つの例として東ティモールにおける移行期の正義を取り上げるが、履修学生は、平和構築の特定の分野やトピックを選択して自分独自の研究をし、研究結果に基づいて提言をすることができる。

(授業キーワード)

平和構築、平和、人権、開発、武力紛争、治安部門、移行期の正義

[～～キハラハント教授紹介のサイトへ～～](#)

サステナビリティ 福士 謙介教授・ガスパルトス アレク サンドロス准教授



～～概要～～

社会を構成する最も小さな単位は個人である。その個人のサステナビリティは、家族、地域、社会、地球それぞれのサステナビリティに大きく依存している。個人の生活を守ること、地域社会を守るとは地球全体のサステナビリティが確保されていないと達成されない。サステナビリティは様々なスケールで達成されるべきであり、そのような考えのもと、様々な開発計画、産業活動等が実行されていくことが理想的である。本講義では世界の様々な地域で困難に直面している環境、健康、資源、開発、人材、産業、生活、文化、教育等の様々な事象をサステナビリティの観点から見つめ直し、その解決策をともに考えていきたい。

(授業キーワード)

サステナビリティ サステナビリティ学 持続可能性 資源 環境 社会
地球

[～～福士謙介教授紹介のサイトへ～～](#)

[～～ガスパルトス アレクサンドロス准教授紹介のサイトへ～～](#)

グローバル・シティ 吉見 俊哉教授



～概要～

今や、都市の網の目は全地球を覆っている。携帯端末や自動車、ファッション、音楽、食生活を通じ、「グローバルシティ」は「グローバル社会」とほとんど重なっているようにも見える。だが、実はそれは少し違う。都市とは第1に人々の高密度の集まりで、そこには多様性の出会いがある。異なる文化的背景の人々が、都市を舞台に交渉する。第2に、都市は具体的な建物や道、広場、乗り物によって成り立つ特定の場所である。都市計画や地理構造がそこでの出来事を条件づける。第3に、それぞれの都市にはその都市固有の歴史があり、それが都市の文化的個性をかたちづくる。グローバルシティを理解することは、グローバルに結びつく多様な人々の集まりとして発展してきた具体的な都市の具体的な場所について考えることだ。その具体的な都市はどこでもいい。あなたが関心を持つグローバルシティの都心地域（downtown area）に関心を集中させよう。都心地域で起きている再開発やジェントリフィケーション、文化的流行、新しい創造-情報産業、犯罪や遊興地域、老舗商店街やスローモビリティ等について、2020年のオリンピック以降の東京都心が向かうべき道を視野に入れながらグローバルな比較を行っていく。

（授業キーワード）

[～～吉見俊哉教授紹介のサイトへ～～](#)

- [お知らせ](#)
 - [東大の GLP 教育](#)
 - [**GLP-GEfIL**](#)
 - [概要・履修の流れ](#)
 - [GLP 指定科目](#)
 - [履修生募集要項](#)
 - [GEfIL 共通授業科目](#)
 - [GEfIL 共通講義](#)
 - [グローバルリーダー講義](#)
 - [**GEfIL 実践研究**](#)
 - [GEfIL 海外プログラム](#)
 - [キックオフ説明会](#)
-
- [FAQ](#)
 - [GEfIL ALUMNI GROUP](#)
 - [お問い合わせ](#)